

株式会社 エスクリエイト
名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階
TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699
URL: <http://screate-soft.co.jp/>
担当: コンサルタント 石垣 智博
tomohiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

第三者の意見は新鮮だった

夏本番！猛暑が続いています。とても暑くて大変ですが、この暑さを上手いこと乗り切るしかないですね。昼間は日差しがじりじりと痛いので家の中でじっとしていることが多いですが、早朝は日差しも弱く暑さもあまりないので、なるべく早朝に活動しています。例えば、運動したり、掃除したり、勉強したりとありきたりではありますけど…。

今月は弊社が7月末に受けたISMSのサーベイランス(定期審査)からの話題です。

◆IS027001 (ISMS)の移行審査を兼ねて

今年のサーベイランスはJIS Q 27001:2006 (ISO/IEC 27001:2005)からJIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)へ規格の変更があったため移行審査(以降、審査)を兼ねていました。

審査でのインタビューは各部署や運営チーム(システム管理者や内部監査チームなど)毎に実施し、関係者がインタビューを受けます。通常所属していない部署の審査については参加しないです。しかし、今回は所属していない部署や運営チームの審査にも観客として参加しました。なぜなら、審査者がどんな視点を持ってインタビューをしているのかを知りたかったからです。私は内部監査時にインタビューする立場であり、私が気付かない新たな視点・論点を得られるのではと期待したからです。

◆第三者から気づきを得ることが多い

さすが、審査の場数をたくさん経験している先生です。数々の鋭い質問にお褒めの言葉を入れ混ぜながら、上手くインタビューを進めていきました。

業務プロセスで検討しているところに対して、「それでプロセスですか？」良く出来ている感じの箇所では「これはしっかりやっていますね～」などなど。

そこで気付いたのは、形式的な質問もあるのですが、単に訊いているのではなく「気づきを得られるような質問」「主体性を持って説明させる」「世間での問題や、昨今のテーマに対して」「内部的な問題目線だけでなく、外部への目線」など、質問テクニック的なものから、切り口を変えるなど、さらにISMSを活用するためのヒントが満載でした。また、この様なヒントはISMSばかりでなく普段の仕事でもいきってくるものでした。

俯瞰的にみているつもりでも視野が狭かったり、外の情報を意識していても抜け漏れがあり足りなかったりするものです。第三者に意見を聞く機会があると、俯瞰的に物事を眺めるコツが分かったり、事象に対して違う切り口に気付いたり、先入観を払拭できたりします。審査とはいえ良いアドバイスを頂いたなあと思えた気分になりました。

さて、経営について相談できずに悶々としている経営者が多いと聞きます。中小企業施策として、地域の「よろず支援拠点」や中小企業庁「ミラサポ」でも専門家活用を案内しています。第三者からアドバイスが得られる施策がありますので活用しても良いと思います。

URL: <https://www.mirasapo.jp/index.html>

「これは使える！経営にちょい足し IT！ 無料 IT ツールの活用」（その 3）

このコーナーでは、さらなる IT 活用をしていただきたいと思います、無料で使える IT を紹介しています。

◆グループ活動をサポート

サイボウズ LIVE

プロジェクトの情報共有がしたい、他社メンバとグループウェアでスケジュールやファイルなど情報共有したい、けどグループウェアを導入とまでは・・・というあなた！

サイボウズ Live が解決します。

「プロジェクトチームの情報共有をもっとスムーズに。サイボウズ Live は無料で使えるコラボレーションツールです。」（サイボウズ Live の HP より）

このソフトは、サイボウズ株式会社が無償で提供するクラウドサービスです。グループ内で、スケジュール・タスク・ファイル・メッセージを共有し運営をよりスムーズに行うためのツールがセットになっています。もちろん、スマートフォンにも対応しています。

情報共有というと Dorpbox、GoogleDrive といったファイル共有ソフトを想像しますが、サイボウズ Live はグループウェアに近い情報共有サービスとなります。1 グループ 300 人まで参加可能なのはすごいですね。

導入事例によると、大学の研究室やクラブ活動、PTA、NPO 法人、公共(町)、株式会社など様々な団体に活用されています。様々な活用方法について参考となる部分がたくさんありますので、気になる方は是非検討して下さい。

URL : <https://live.cybozu.co.jp/>

※情報は 2015/8/3 時点のものです。また、企業で定められているセキュリティルールの順守など情報セキュリティにはご注意ください。
※紹介したソフトは自己責任でご使用ください。いかなる損害やトラブルの責任は一切負いかねますので予めご了承ください。



「本は考える為のサプリメント」（その 52）

今月ご紹介する書籍は、サントリー元会長と作家の物語。サントリーが大きくなる過程のワクワクあり、2人の男の出会いがあり、別れに涙あり、どんどん先が読みたくなる内容でした。佐治敬三氏だけでなく NHK 連続テレビ小説「マッサン」で登場した敬三氏の父である鳥井信治郎氏(ドラマでは鴨居欣次郎(堤真一さん))が竹鶴政孝氏(マッサン)と出会うまでの活躍、そして、息子敬三氏の佐治家養子への考察、代替わりなど詳細に記載されており、あたかもドラマが続いているように感じました。

「佐治敬三と開高健 最強のふたり」（北 康利 著）

私はプレミアムモルツ(プレモル)が好きですが、サントリーのビール事業は苦難の道でした。最近のプレモルでようやく黒字化したとのこと。参入当時ビール業界は3強(今の麒麟、アサヒ、サッポロ)が大きな壁となっており、その牙城に挑むサントリー(当時は宝酒造も参入しその牙城に挑んだのですね)。そして、なんと生ビールを家庭で飲む形で出荷したこと、500ml の缶ビールの販売、自販機での流通など、サントリーが業界初でありました。知らないことがいっぱいです。

そして、開高健氏。ベトナム戦争臨時特派員の話も衝撃でした、九死に一生を得て日本に戻っています。開高健氏はサントリー(寿屋)の宣伝部で培ったことが作家でも生きていました。佐治敬三氏が開高健氏をかついでいたのもあるでしょう。「ヨーロッパ巡り」「洋酒天国」「東京行き」「サントリー70年史」のくんだりで記しています。そして親友になっていました。それゆえに、開高健氏亡くなるころは心打たれます。ここでは語りきれないので是非読んでください。

感想として、二人共通して強い力があると感じました。肉体的に強いとか精神的に強いといったのではなく、上手く言えませんが、逆境への忍耐力、そして周りがそれを支えたり助言したりとしてくれているという人間的な魅力です。

—以上—